

日頃子ども食堂を利用している方々からのアンケートや疑問などを基にまとめた質問及びご意見

【ご意見1】登下校時の児童・生徒の安全確保について

いつも町内会の人などは行っているが新入生時期以外はあまり頻繁ではないように思える。昨今こどもの誘拐や不審者が増えてきており、細い通路に入ると一人になってしまう子もいる。そのような配慮や、町内会やPTA活動している方々だけに限らず、一般の保護者も参加できるようにしてほしい。

【回答1】

実施しているのは町内会となります。参加されたい保護者の方がいらっしゃればお住まいの町内会長にご相談いただければ、保護者の方も参加することができます。

なお、町内会長の連絡先が不明な場合は、市までご連絡ください。

また、各学校で組織する学校運営協議会では、各々の地域事情に応じ、保護者を含めた地域の皆様に登下校の見守りを行うなど、児童生徒が安全安心に学校生活が送れるよう支援している学校もあります。

【ご意見2】子どもの居場所づくりの推進について

札幌などの都市部や室蘭の幼稚園等では習い事も学校内でできるようになっているが、登別市でも校内で習い事ができるようにしてほしいがしない理由があるのなら教えてほしい。できるのであれば学校と連携してほしい。

【回答2】

登別市内の幼稚園・認定こども園においても、希望する方に体操教室や英会話教室などの習い事を実施しています。しかしながら、学校施設（校舎や体育館など）の利用については、登別市立学校の施設の利用に関する規則に基づき学校長が許可することとなりますが、同規則第5条（利用の禁止）に「興行、その他私的営利を目的とし、又はそのおそれがあると認めたとき。」などと規定されております。このことから、習い事での利用を許可することはできません。

なお、近隣の地方自治体でも、小中学校で民間企業等による習い事を実施している事例はないものと認識しています。

【質問1】多様な遊びや体験、活躍できる機会づくりについて

開かれた学校づくりの推進事業の実施 について、「放課後に地域住民による学習サポートを実施します」とあるが、登別市内すべての学区と捉えてよいのでしょうか？

また、放課後に地域住民による学習サポートを実施とありますが、どんな方々が実施されることを想定していますか？その方々へ賃金の支給はあるのでしょうか？

開かれた学校づくり～にも共通するのですが、習い事を導入することは考えていますか？

【回答3】

「開かれた学校づくり推進事業」は、市教育委員会所管の事業ですが、各学校に設置する学校運営協議会において、地域の実情に応じ、地域協力者の支援を受け、市教育委員会職員も適宜支援に入りながら放課後の学習サポート等を実施しています。

この場合において、地域の協力者には、無償ボランティアとして参画していただいております。

校内での習い事については、回答2のとおりです。

【質問2】不登校のこどもへの支援について

鬼っ子広場の実施 学習指導や体験活動とあるが、どのように周知されるのでしょうか？

【回答4】

鬼っ子広場は、不登校や不登校傾向にある児童生徒の日中の居場所として開設しておりますので、そのような児童生徒とその保護者に対し、学校を通じて個別に紹介しております。

また、市教育委員会ホームページや毎月発行している子育てコラム「手をつなぐ親と子」でも、各種相談先や鬼っ子広場について定期的に周知しています。

【質問3】子育てや教育に関する経済的負担の軽減について

小学校・中学校の給食費の負担軽減については盛り込まれているか？盛り込まれていない場合は検討していただけますか？

【回答5】

登別市こども計画では、給食費の負担軽減については盛り込んでおりません。

しかしながら、登別市では、令和7年度より食材料価格をはじめとした物価上昇の収束が見えないことなどから学校給食費を25%値上げ改定しておりますが、保護者負担を軽減すべく、令和7年度においては国の交付金を活用し、保護者負担額は実質据え置きとしています（保護者負担軽減額：年額13,213円～16,280円）。

今後においては、食材料価格の動向や国による学校給食費無償化の動き等も注視してまいります。

【質問4】子育てや教育に関する経済的負担の軽減について

非課税・ひとり親以外の子育て世帯に食料の配布など希望されている世帯が多かったのですが、取り組みの予定はありますか？

【回答6】

市としては、食料品の配付実施は考えておりません。

市の関係部署と当事者との関わりの中で、必要があると認めたケースについて、フードバンクや社会福祉協議会の支援事業に繋いでいます。

また、市内こども食堂への寄附物品等、こども食堂の運営に資する各種の情報提供を行っており、それらを活用いただくことで、各こども食堂での食事提供に寄与できるものと考えています。

【ご意見3】

様々な家庭状況で子供達は育つのですが、学校に行く際の持ち物（夏場の塩分タブレット、水分補給の飲み物（スポーツドリンク）冬場の防寒の為にカイロ等など…）ご家庭の判断にお任せしますが最近は本当に多く、細かな事ではありますが、持たせてあげられる家でありたいと、かなりの出費でした。

数年後に中学校が統合になる校区に住んでおり、通学費や新デザインの制服等の購入なども、周囲の保護者みんな気になっています。

実際に子育てをしている家庭の意見を聞き入れて下さる機会を設けて下さる事や、親の収入状態に関わらず、一律の経済支援などを頂きたいです。

【回答7】

子育てをしているご家庭の意見を聞く機会としては、このたびの登別市こども計画の策定にあたり、市内在住の小学校入学前の子どもの保護者及び市内在住の小学1年生から6年生までの子どもの保護者を対象にアンケート調査を実施したように、これまでも定期的にアンケート調査を実施し、ニーズの把握をしています。

その中で、市に望む子育て支援策として回答の多かった「保育所、幼稚園の無償化」や「医療費の免除拡大」等を参考として、これまで経済的支援策を講じてきたところであり、今後につきましてもアンケート調査等の結果を踏まえて取組を進めてまいります。

なお、市教育委員会では、経済的な理由により就学が困難な児童生徒又は入学予定者の保護者に対して就学のために、就学援助制度を設けており、各小中学校を通じ全ての保護者へ周知しております。